

授業科目	地域活性化研究				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO31504J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-2			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	本授業はデータ解析を通じた地域活性化について学ぶ。具体的には与えられたデータの構造、データ間の関連性を探りながら、相関、単回帰分析、多変量解析などを通じてデータ解析をおこない、地域活性化の客観的・具体的手法について学ぶことを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	1. データの構造を理解し、単回帰分析・多変量解析ができるようになる。 2. 1. を通じて地域活性化の方向性について検討できるようになる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	80	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)			30				30	
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)		20					20	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
単回帰分析や多変量解析を通じて地域活性化の方向性について自らの言葉で分析・考察できるようになる。				回帰分析を利用し、さまざまなデータを分析できるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス、データ解析とは			講義		復習		40

2	統計の基礎	講義	復習	80
3	相関と単回帰分析① ～相関関係～	講義	復習	80
4	相関と単回帰分析② ～単回帰分析とは～	講義	復習	80
5	相関と単回帰分析③ ～散布図～	講義	復習	80
6	相関と単回帰分析④ ～回帰直線～	講義	復習	80
7	相関と単回帰分析⑤ ～データの予測～	講義	復習	80
8	多変量解析① ～要因分析～	講義	復習	80
9	多変量解析② ～予測分析～	講義	復習	80
10	多変量解析③ ～多重共線性～	講義	復習	80
11	多変量解析④ ～数量化Ⅰ類～	講義	復習	80
12	多変量解析⑤ ～回帰分析結果の読み取り～	講義	復習	80
13	多変量解析⑥ ～予測値～	講義	復習	80
14	多変量解析⑦ ～コンジョイント分析～	講義	復習	80
15	総まとめ	講義	復習	80
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	新聞・マスコミ等で報道されるさまざまなデータに関心を持つようにしてください。			
テキスト	道用大介『図解でわかる 最新エクセルのデータ分析がみるみるわかる本』, 2019 年, 秀和システム			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	涌井良幸・涌井貞美『Excel で学ぶ多変量解析』ナツメ社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本授業を履修することで、さまざまなデータを分析し考察できるようになります。データ解析の手法を学び、卒業論文の作成などに役立ててください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	第 1 回授業の際に説明します。			

